（本　社）

株式会社 フジ設計

和歌山市北ノ新地東ノ丁

夢をカタチに。

代表取締役　**藤田　貴司**さん

◇御社の歴史を教えて下さい。

（秋葉山公園県民水泳場　基本設計）

ゼネコン設計部で約一〇年の経験を積んだ後、昭和六〇年一〇月に市内の一級建築士事務所を創業しました。当初は夫婦で確認申請業務をメインとした個人住宅・建築士事務所でスタートしました。

その後、官公庁や民間企業等の設計監理業務などの建築設計業務を社員一〇人で行っています。官公庁関連の仕事が七割で、民間企業の仕事が三割となっています。主なものに、秋葉山公園水泳場の設計や南紀はまゆう統合支援学校（仮称）設計監理をJVで請け負ったもの、児童養護施設（旭学園）そして全館空調システムの住宅の設計監理の住宅などがあります。

また、現在は、建築における調査・企画・設計・監理業務などの建築設計業務を広げてきました。

成二年に組織変更し、平成三〇年に株式会社フジ設計監理業務を平成三〇年に和歌山市へ移転する一年間、業務を確保するのに苦労しました。

◇「ものづくり」へのこだわりを教えて下さい。

設計にあたって最も重視していることは、「施設（建物）の使いやすさ」です。その場所を「誰が」「どんな目的で」使用するのかを念頭に、基本的設計を追及します。

基本設計段階では、「施設（建物）の「価値」とトータルでの視点を設計に追及します。

ICT（建築情報モデル）を使ってBIMを活用し、現場の施工者とも共有することで、施工ミスを減らす。

また、建物の開発・研究・設計段階から、建物の安全性（耐震診断）を検証することが要求されます。

建築物の健康診断をし、存在する問題点を合わせて、建築士に依頼することが大切です。

建築士は、建築設計に携わっていくために、建築士資格が必要です。しかし、目的ではなく通過点にすぎません。建築士にプラスした資格の取得や従業員の個性に合った専門分野にもチャレンジできるように、スキルアップ研修を行い、スペシャリストとなるように育てていきたいと思っています。

（全館空調システム　M邸）

◇人材育成について教えて下さい。

◇ポリテクセンターから採用した感想は？

ポリテクセンターの方は、技術・経験も身に付けてきた方で、社会人としての基本的な事を任せることができます。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

ものづくりの仕事は、専門性と持続性が必要であると思います。

職人の世界は、突き進んで新しい技術を持ち前向きな人材育成をお願いします。

（令和４年７月取材）

修了生の声（住環境計画科）

平成30年12月修了

上田真豊　さん（31歳）

以前は、名古屋で機械設計の仕事をしていました。挑戦したいと思って職種にしました。

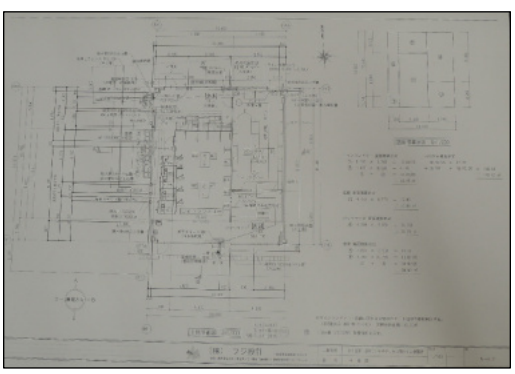
ポリテクセンターに入所し、建築設計の基礎から学びました。

施工図の作成や、CAD立体図の作成もできるようになりました。

現在は、役所等の建築士事務所に勤務しています。

ランニングが興味深く、将来は、建築士を目指しています。

通信制で、図面の書き方や内装の施工方法、内装プ



（上田さん設計の図面）

ます。

ポリテクセンターで教えている内容は、実務でとても役に立ちます。

また、福祉住環境コーディネーターや建築CADなどの資格は取るべきです。

授業や資格勉強のモチベーションを高めるためにも、この機会にぜひ友達を作ると良いと思います。

FUJI260333

（インスタグラム・WEB）